

令和2年12月11日

東伊豆町議会議長 村木 脩 様

総務経済常任委員会  
委員長 山田 直志

### 総務経済常任委員会報告書

本委員会に付託された事件について、調査の結果を別紙のとおり、会議規則第77条の規定により報告します。

## 別紙

### 1. 調査事件

ふるさと納税について

### 2. 調査の経過

#### (1) 会議回数、月日、場所、出席委員等

ア. 第1回 9月25日(金) 役場4階 第一委員会室

出席委員

6番	西塚	孝男	7番	須佐	衛
10番	内山	慎一	11番	藤井	廣明
12番	鈴木	勉	14番	山田	直志

オブザーバー

議長 村木 脩

説明のために出席した者の職氏名

総務課長	村木	善幸
総務課財政係長	太田	正浩
総務課財政係主査	飯田	拓郎

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	国持	健一
議会事務局書記	吉田	瑞樹

イ. 第2回 11月9日(月) 役場4階 第一委員会室

出席委員

6番	西塚	孝男	7番	須佐	衛
10番	内山	慎一	11番	藤井	廣明
12番	鈴木	勉	14番	山田	直志

オブザーバー

議長 村木 脩

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	国持	健一
議会事務局書記	吉田	瑞樹

ウ. 第3回 11月20日(金) 役場4階 第一委員会室  
出席委員

6番	西塚	孝男	7番	須佐	衛
10番	内山	慎一	11番	藤井	廣明
12番	鈴木	勉	14番	山田	直志

職務のために出席した者の職氏名

議会議務局長	国持	健一
議会議務局書記	吉田	瑞樹

エ. 第4回 11月30日(月) 役場4階 第一委員会室  
出席委員

6番	西塚	孝男	7番	須佐	衛
10番	内山	慎一	11番	藤井	廣明
12番	鈴木	勉	14番	山田	直志

職務のために出席した者の職氏名

議会議務局書記	吉田	瑞樹
---------	----	----

### 3. 調査の結果

#### (1) 現在の取組状況の概要

##### ア 年度別実績

年度	人数	件数	寄附金額 (単位：円)	備 考
20	4	4	400,000	ふるさと納税開始
21	4	4	500,000	
22	3	3	350,000	
23	2	2	200,000	
24	6	6	1,000,000	
25	10	10	930,000	
26	21	21	1,044,000	
27	610	777	23,475,000	記念品開始（上限区分5万円）
28	4,092	4,662	261,975,018	インターネット申込・クレジット 決済開始
29	2,248	3,550	179,660,000	上限3割でスタート 上限区分 100万円
30	1,424	2,043	134,678,000	パンフレット・リーフレット作成 広告
元	2,035	2,621	159,714,000	楽天サイト開始・システム導入
計	8,424	11,082	604,212,018	

※令和2年度 東急サイト開始

##### イ 納付方法別の実績

納付方法	人 数	金 額 (単位：円)	割 合
クレジット決済	1,833	140,145,000	87.7%
銀行振込	41	6,491,000	4.1%
郵便振替	156	12,616,000	7.9%
窓口現金	4	312,000	0.2%
現金書留	1	150,000	0.1%
計	2,035	159,714,000	

## ウ 記念品分類別実績

分類名称	件数	金額 (単位:円)	割合
宿泊券	1,509	122,410,000	78.4%
水産物(加工)	380	27,010,000	17.3%
水産物(生)	109	4,860,000	3.1%
菓子・ジュース等	77	870,000	0.6%
農産物(生)	63	680,000	0.4%
その他	3	300,000	0.2%
計	2,141	156,130,000	

※記念品なし 3,584,000円 (うち災害 3,034,000円)

※取り扱い事業者数 29 品目数 149品 宿泊施設 27軒

## エ 記念品の相当金額及び認定事業者への支払額

寄附金額	記念品の相当金額	認定事業者への支払額
1万円以上2万円未満	3,000円相当のもの	3,000円
2万円以上3万円未満	6,000円相当のもの	6,000円
3万円以上5万円未満	9,000円相当のもの	9,000円
5万円以上10万円未満	15,000円相当のもの	15,000円
10万円以上15万円未満	30,000円相当のもの	30,000円
15万円以上20万円未満	45,000円相当のもの	45,000円
20万円以上25万円未満	60,000円相当のもの	60,000円
25万円以上30万円未満	75,000円相当のもの	75,000円
30万円以上50万円未満	90,000円相当のもの	90,000円
50万円以上100万円未満	150,000円相当のもの	150,000円
100万円以上	300,000円相当のもの	300,000円

## (2) 課題

### ア 写真やキャッチコピーに、魅力がない。

カタログやネットサイトを見ると町の記念品は目立っていない。写真に影があり暗く、意欲をそそる言葉も少ない。

認定事業者が提供した写真や文章がそのまま使われていることによる。

事業の大半を総務課財政係が担当しており、サイトの開拓などは出来てもカタログの写真、文章まで手が回っていないことによるものである。

**イ 魅力ある記念品が少ない。**

これまでは、広く町民に呼びかけ認定事業者、記念品を選定してきた。記念品は、認定事業者が持ち込んだものに留まっており、魅力ある商品の開発には手が回っていない。

**ウ 記念品の寄附金額（区分ごと）の幅が広い。**

4 ページのエの表にあるとおり、記念品の寄附金額の区分は11にわかれているが、1区分ごとの寄附金額の幅が非常に広いものとなっている。

そのため、寄附額によっては記念品の上限返礼率3割を大きく下回るケースもあるため、区分表の見直しが課題である。

**エ 宿泊券等が78.4%を占めている。**

ホテル・旅館に魅力があるという面もあるが、その他に魅力ある商品が少ないともいえる。

商標登録を持つ金目鯛、農林大臣賞を受賞したカーネーション、秀逸なミカンなどもある。その他にも海・山の観光資源・施設が数多くあるが生かされてはいない。

### **(3) 意見（提案）**

本委員会では、決算により明らかになった財政状況を受け止めて、少しでも財源を確保することができないかと言う視点で、所管事務調査を行った。

そうした視点から、意見（提案）を以下のとおりまとめた。

**ア 財政係とは別の体制を確立されたい。**

町としての窓口と事業の統括は財政係としても、事務や実務作業は業務に専念できる体制を作るべきである。

諸課題を改善し予算目標を大きく突破する取組とされたい。

**イ 目的を明確にしたふるさと納税を**

細野高原維持や街並み整備など応援してほしい目的を明確にした事業にふるさと納税を活用されたい。

#### ウ 寄附額区分表（４ページ参照）の見直しを

記念品の寄附金額区分表の幅が広い状況については見直しを検討すべきである。

寄附の志と記念品は一体の状況にあり、見直しにより少しでも多くの寄附を募り易くすべきである

金額による記念品の開発も有効だが、これまでの記念品を組み合わせることで対応できる。特に、中心になっている宿泊券等に観光施設の利用券や農産物・水産物、食事券を組み合わせる魅力的な記念品を開発提供して、満足度とお得感を高めるべきである。

#### エ 魅力ある商品開発を

これまでは、認定事業者の持込による記念品の提供であった。寄附者の視点に立って、町内の農漁業、観光施設の利用、町民個人や商店にもある魅力的な品物やサービスを掘り起こし生かすべきである。

また、農漁業者などは、収穫期繁忙期に発送などの作業に手を取られることに抵抗感もある。集荷や梱包・発送などは、別の施設（例えば「こらっしえ」など）を活用するなどの手立ても検討されたい。

#### オ 送料の負担は検討されたい。

記念品の送料は、記念品の注文を受けた業者が負担する枠組みであるが、送料を記念品納入業者に負担させると商品開発等の意欲が低下しかねない。

送料を町の負担とすることについて、検討されたい。

#### カ ふるさと納税から町の応援者にする取組を

西伊豆町のふるさと納税は、令和元年度 103,706 件、11 億 9,425 万円であった。

これの実績は、商品開発や広告によるものだけではない。

西伊豆町ふるさと納税係が「西伊豆町ふるさと納税通信」を毎年発行している。この通信では、寄附の活用状況、町や観光施設の紹介、記念品のピックアップなどを紹介している。

寄附一度の関係でなく、寄附者と繋がり、町の応援者になり続けていただく努力をしている。こうした対応が重要である。